

栃木県の社会教育施設を訪ね、ぜひ活用を

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

高校野球では作新学院高校は本当に残念でした。ぜひ来年も活躍していただきたいと思います。また、他のチームの皆様も頑張ってください、よい試合を見せていただけたら有難いと思います。

夏休みもそろそろ終わりになりつつあります。そこで今日は、家族や友だち、学校の楽しいイベントとして、夏休みの間や9月に入ってからぜひ皆様に訪ねてほしい場所をご紹介します。

2. 皆様は学校で素晴らしい勉強をしています。そこで、夏休みや休日などには社会教育施設などを訪問して、学校の勉強以外の教養を深めていただければと考えます。そして、学ぶ意味や何のために生きるのかについても考えていただきたいと思います。

3. 私は、2004年から2012年の8年間にわたって栃木県社会教育委員を仰せつかっていました。そして、社会教育について様々な勉強をさせていただきました。委員の議論の一つに、県内の社会教育施設をこれからどうするかというテーマがありましたので、意識的に県内の施設を訪れていたことがあります。今もできるだけ訪れるようにしています。そこで今日は、栃木県の社会教育施設について少しお話をさせていただきます。

4. 社会教育施設の中で特に大切なのは図書館であると、私は考えます。学校の図書館もちろん大切ですが、県立図書館や市や町にある公立図書館はととてもとても大切であると思います。そこで、図書館を自分の人生の一つの居場所、過ごす場所としてとらえ、ぜひ活用していただきたいと思います。

5. 図書館は本が置いてあるだけでなく、世の中の数多くの情報が集まる場所です。上手に活用するために、まずは図書館へ足を運んでみましょう。そして、図書館でどのようなことができるのかを自分で考えてみてください。

私の持論は、図書館は、朝6時から夜12時まで365日開館し、県民の皆様には学ぶ機会を与えていただきたいというものです。なぜそのような時間帯かと言いますと、高齢の方は早起きの方が多いですし、仕事が終わったあとに勉強したいという方もたくさんいらっしゃるからです。また、な

ぜ 365 日開館かについては、お盆やお正月、休日も勉強したいという方もたくさんいらっしゃるからです。しかし、そのようにすることはなかなか難しいです。

6. 美術館もぜひ訪ねていただきたい場所です。県内には県立美術館はじめ、各市町に多くの美術館があります。また、例えば佐野市にある吉澤美術館のように、私人や企業が運営する素晴らしい美術館もたくさんあります。

私は先日、宇都宮の美術館を訪れて展示を見てきました。館内には公園やレストランなどがあり、ミュージアムショップでは展示品に関するグッズが売られています。また、学芸員の方がいらっしゃいますので、お勧めを教えてください、説明を聞いたりすることもできます。美術館を訪れて展示物を見たり、展示物について勉強したりすると、人生に深みが増すと考えます。ぜひ市や町の美術館や県立美術館などに行っていただきたいと思います。

7. 栃木県には、多くの種類の博物館と科学館がありますので、日本や世界の歴史、産業について学ぶこともできます。栃木県は歴史の宝庫でもありますので、日光の東照宮をはじめとする神社仏閣、足利市にある足利学校、栃木市の山本有三記念館を訪ねてみるのもお勧めです。県内で俳句を作りながら旅をした松尾芭蕉の足跡をたどるのもよいですね。そして、県立公園や各市町にたくさんある公園でリフレッシュしてください。

これらはすべて社会教育施設で、県民の皆様の社会教育のために県や各市町がお金を出して施設を整えています。ですから、図書館や美術館、博物館、公園などに行ってぜひ活用していただきたいと思います。

加えて、大学や研究所を訪れることもできます。手続きを踏んで訪問し、そこでどのような勉強や研究をしているのかについても学んでいただければと思います。

8. このような形で、夏休みの最後、または、9 月に入ってから家族や友だちと一緒に社会教育施設を訪問し、学校の勉強を深めていただきたいと思います。また、大人の方がもう一度勉強し直すことも、よい人生の過ごし方の一つであると考えます。ぜひ訪ねてみてください。